

ここが聞きたい！

一般質問Q&A

一般質問とは？
議員が、市民の皆さんの生活にかかわる身近な市政の課題に対して質問を行います。



くらし・安全

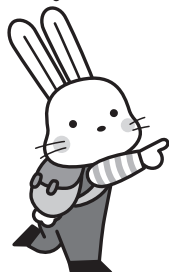


避難所としての
宿泊施設の活用と課題
二階堂 利枝

Q 新型コロナウイルス感染症対応
応型の災害時の避難所として、
ホテルや旅館を活用する効果と課題
は。

A 従来の避難所では、密集を避
けられないため、災害時に市民
が躊躇なく避難行動をとれる一つの
手法として有効である。

宿泊施設の活用にあたっては、受
け入れ対象者の把握や市民への周知
の調整を必要とする課題もあること
から、受け入れ可能な宿泊施設とそ
の収容可能人数なども考慮しながら、
今後、旅館ホ
テル組合とも
実施に向けた
協議を進める。



新型コロナウイルス
感染症対策の概要
石原 洋三郎

Q 新型コロナウイルス感染症の
拡大による市民からの意見を、
どのように受け止めてきたのか。

A 対策本部を立ち上げ、感染拡
大防止をはじめ、市民生活支援
や地域経済対策に努めてきた。

2月5日に相談専用電話を開設、
同7日に帰国者・接触者相談セン
ターを設置、感染の不安を抱える方
からの相談に対応するとともにPCR
検査体制の強化を図った。

4月17日に本庁舎1階に生活相談
窓口を設置、個人からの感染症や生
活支援、事業者からの事業資金確保
などの相談があり、市営住宅への入
居支援や就職支援、飲食店舗への支
援につなげた。

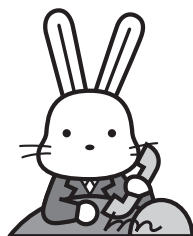
今後引き続
き、市民に寄り
添った施策の展
開に取り組む。

産業・経済



地方創生臨時交付金の
活用状況
後藤 善次

Q 臨時交付金の活用は、新しい
生活様式に見合った業務内容の



改善など、ピンチをチャンスに変え
る絶好の機会でもあるが、どのよう
に活用したのか。

A 新たなビジネスモデル創出支
援事業に活用し、ICT活用な
どによる電子決済やネット通販参入、
ドライブスルーやテイクアウト方式
の導入に伴う受け渡しカウンター設
置費用など、新しい生活様式に沿っ
た取り組みを
行う中小企業
者に対して、
業種を問わず
広く支援する。



道の駅開業に向けた 施設運営の具体的な内容



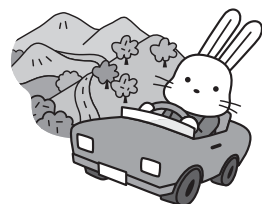
施設運営の具体的な内容
穴戸 一照

Q 福島市地域振興施設道の駅の
開業に向けて、市が指定管理者
と行う施設運営の具体的な協議内容
は。

A 道の駅を地域産業の新たな拠
点とするため、新商品などのテ
ストマーケティングの場として、消
費拡大や地場産業の育成についての
協議を行ったり、地域への波及効果
を高めるため、道の駅の来場者を周
辺地域に広く誘導する仕掛けづくり
などの施設運営に関する協議を行う。

また、屋内子ども遊び場が近接し
ていることから、相乗効果による関
連購買および来場者数の向上、びよ

んぴょんドームな
どの周辺施設との
連携や料金の在り
方を含めた施設運
営について、協
議・検討する。



福祉・健康

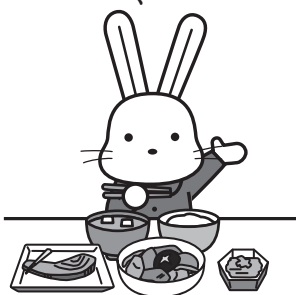


準要保護者への
学校給食費相当分の支給
小熊 省三

Q 学校給食費の取り扱い事務連
絡に基づき、就学援助制度を利
用する準要保護者に学校給食費相当
分を支給すべきでは。

A 学校給食費に係る就学援助は、
保護者への金銭給付ではなく、
実質、学校給食そのものを現物給付
として提供している。

就学援助制度は、就学に係る経済
的負担の軽減を図ることを目的とし
ており、就学援助を受けている準要
保護家庭に、
学校生活で
生じていな
い負担を学
校給食費相
当分として、
金銭で支給
することは
考えていな
い。





PCR検査外来を 先行して設置した理由

沢井 和宏

Q 市が発熱外来ではなく、PCR検査外来を先行させて設置した理由は。

A 新型コロナウイルス感染症の発生が確認されて以降、多くの医療機関にて、受付時間または動線や待合室などの場所を分け、医師などは、感染防御対策をした上で発熱外来の機能をもって患者を診察していた。その際、感染者を早期発見するためには、PCR検査体制の整備が必要と判断された。

これにより、帰国者・接触者外来で、早急に治療が必要と判断した方は、CT検査などとPCR検査採取を行い、感染リスクが高いが軽症の方は、PCR検査採取のみを行うこととし、PCR検査専用外来を設置した。



いきいきもりん体操 活動再開への支援

二階堂 武文

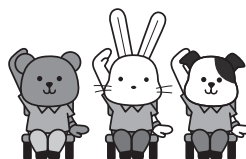
Q 今後のいきいきもりん体操の活動再開に向けた支援は。

A 国および県の緊急事態宣言解除を受け、5月25日付けで活動

団体に対し、感染拡大に留意した活動方法についての周知を行った。

手洗いなどの手指衛生、咳エチケットの励行などの基本的な感染防止対策とともに、3密を避け、人と人との距離を確保すること、体操の際の発声に注意すること、体操前後の交流などは極力行わないこと、当日の参加者名簿を作成し保管することなどの対策を講じることにより、活動を再開することとしている。

また、各団体の課題に寄り添った支援が実施できるよう地域包括支援センターに対し、協力依頼している。



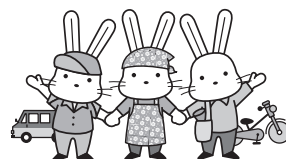
放課後児童クラブへの きめ細かな支援

佐々木 優

Q 放課後児童クラブから、クラブの重要性を改めて理解してほしいという声があるため、市として各クラブの声を聴いて、きめ細かな支援を行うべきでは。

A 放課後児童クラブとの意見交換の機会として、クラブの代表者会議や学童クラブ連絡協議会の役員との懇談会、毎年、半数のクラブを対象とする現地調査などがあり、運営状況や課題などを把握するとともに、各クラブからの悩みや相談対応にあたっている。

引き続き、連携を密にし、相談しやすい環境を整え、きめ細かな支援に努める。



まちづくり



福島駅東口地区市街地 再開発事業の現計画

石山 波恵

Q 新型コロナウイルス感染症対策による新しい生活様式に変わる中、福島駅東口地区市街地再開発事業の現計画に影響はあるのか。

A 福島駅東口地区市街地再開発事業は、現計画に新しい生活様式を盛り込みながら、具体的な対応策について、再開発準備組合と協力して検討していく。

なお、福島駅前の顔として長年親しまれてきた中合の閉店など、再開発事業を進める上での懸念材料はあるが、関係機関との連携を図りつつ、魅力あるテナントの招致と再開発事業の前進に努め、再開発事業の円滑な推進に努力する。



～議会の新型コロナウイルス感染症対策～

6月定例会議における本会議の傍聴は、発熱などで体調がすぐれない方にはご遠慮いただくとともに、マスクの着用と入場時の消毒液による手洗い、ご連絡先の記載にご協力いただきました。

また、委員会の傍聴は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策が十分にとれないため中止しました。

議場は、傍聴席や議席などの間隔を広げて配置するとともに、適宜窓を開け、換気を行いました。

例年5月に開催している春の議会報告会・意見交換会は、実施を見送っており、秋の開催については、今後、市議会だより、市議会ホームページなどでお知らせいたします。



傍聴席は間隔を広げて配置しました